

留学費用について

海外の大学に留学する場合、授業料などの学費、部屋代・食費などの滞在費に加えて、保険料や渡航費用、そして現地での交通費や教科書代などが必要となります。また、海外の国公立大学では、現地の学生が支払う授業料と別に、留学生用の料金が設定されているため、必ずしも私立大学の方が費用が高いとは言えません。以下の表は、日本からの留学生にも良く知られた大学の学費（8～9ヵ月の1学年間）と滞在費の一例です

国	種類	大学名	授業料等	滞在費等	合計
アメリカ	私立	ハーバード大学	779万円	265万円	1,044万円
	州立	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	610万円	234万円	844万円
	州立	カリフォルニア州立大学ロングビーチ校	255万円	167万円	422万円
	私立	ブリガムヤング大学（ユタ州）	172万円	91万円	263万円
	公立短大	エルカミノカレッジ（カリフォルニア州）	122万円	156万円	278万円
カナダ	公立	ブリティッシュコロンビア大学	475万円	147万円	622万円
	公立短大	ランガラカレッジ	208万円	102万円	310万円
イギリス	国立	イーストアングリア大学	308万円	145万円	453万円
オーストラリア	国立	ウーロンゴン大学	274万円	146万円	420万円
ニュージーランド	国立	カンタベリー大学	260万円	168万円	428万円
マレーシア	国立	マラヤ大学	123万円	51万円	174万円

US\$1=¥136, CAN\$1=¥111, GBP1=¥171, AUS\$1=103, NZ\$1=¥88, MYR1=¥30（参考：2022.8.16 みずほ銀行 TTS レート）

上表に見られるように、同じカリフォルニア州の州立大学でも、カリフォルニア大学はカリフォルニア州立大学の約2倍、また同じ地域の2年制大学であるエルカミノカレッジはカリフォルニア州立大学の約半分と、大変大きな差があります。

また、州によっても費用は大きく変わります。毎年アメリカの情報誌 US News が発表する大学ランキングにおいて、2021年に州外から入学する学生の授業料が最も安い公立大学として同率1位となった University of North Carolina—Pembroke と Western Carolina University は、雑費や寮の食費を含めても年間約2万ドルと、カリフォルニアの2年制大学とほぼ同額となっています。

一方、私立大学については、州立大学と同程度のところもあれば、上表のハーバード大学のように高額である大学もあります。ただし、私立大学では、留学生も応募可能な奨学金制度が充実しているところも多く、州立大学へ行くよりも費用が抑えられる場合があります。

イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドは国公立の大学が大半を占めるため、専攻分野や地域の違いはありますが、大学間の授業料の差はアメリカほど大きくありません。

費用を抑えるポイント

アメリカやカナダであれば、編入制度を利用して、初めは入学の難易度が低く学費も安い大学へ入り、着実に単位を取得して、最終的に学位を取りたい大学へ編入するという方法が、留学期間を無駄なく使い、同時に費用を抑えることにもつながります。

生活費は、都市部より地方のほうが安くなる傾向がありますが、大学寮がある都市部の大学と、通学に交通費がかかる地方の大学とでは、どちらが良いのか、大学が出している関連情報をしっかりと調べて考えましょう。

そして、奨学金の活用も費用負担を軽減する方法のひとつです。その代表的なものを次にご紹介します。

奨学金について

国が海外留学のために設けている奨学金には給付型と貸与型の2つがあります。詳細については、以下のウェブサイトをご確認ください。

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/index.html

給付型の奨学金には、企業や団体が募集するものもあります。前述の国の奨学金を含め、以下に代表的なものをご紹介します。

●日本学生支援機構（JASSO）学部学位取得型

https://www.jasso.go.jp/ryugaku/scholarship_a/gakubu/index.html

国費による給付型奨学金。海外の大学で学士号を取得する課程に進学する人が対象となります。募集要項は毎年9月頃に発表され、10月中旬に応募を締め切ります。国や大学は限定されておらず、ファウンデーションプログラムが必要な国の場合、これを含む期間が対象となります。ただし、2年制大学は現在のところ対象外です。まず初めにこの奨学金を検討する人が多く、2022年には、45名に対して支援を実施しました。

●柳井正財団海外奨学金

<https://www.yanaitadashi-foundation.or.jp/>

アメリカとイギリスの対象校へ留学し、学士号取得を目指す学生向けの奨学金です。学校に推薦してもらう予約型と、自身で応募できる合格型があり、それぞれ年間20名程度を募集します。

●笹川平和財団スカラシップ

<https://www.spf.org/scholarship/>

アメリカとイギリスの対象校へ留学し、学士号取得を目指す学生向けの奨学金です。年に2回募集を行い、年齢や所得に制限はありません。2023年度は、最大50名程度の支援を予定しています。

上記以外にも、留学する国が募集する奨学金や、大学が学業やスポーツなどの成績優秀者を対象に支給するメリットスカラシップなど、数百ドルの支援から授業料全額免除まで、様々な奨学金があります。出願書類の成績で自動的に付与される奨学金や、合格後、あるいは入学後に申請が必要な奨学金など、取得のタイミングも様々です。また、こうした奨学金を複数獲得している学生も少なくありません。

海外大学のホームページには、Financial Aid & Scholarships といった形で、奨学金情報が掲載されています。自分が行きたい大学があれば、まずは利用できる奨学金制度や、その奨学金を得るための条件を調べ、必要な対策や準備を進めましょう。